

【令和4年度学校運営評価】

1、評価表

- ・評価項目 : 8領域 38項目
- ・評価尺度 : 5段階 5;よい 4;ややよい 3;普通 2;やや不十分 1;不十分

2、実施者と評価領域

- ・教員 : 全領域
- ・管理部職員 : IV、V、VI領域

3、全体の結果

I～Ⅷの 카테고리別評価平均の推移(表1、図1)は、コロナ禍の3年間ほぼ同じ傾向でした。令和4年度は3年度より0.1～0.2低い結果でした。平均が普通以上は、I 教育課程・教育活動とIV学校経営が3.5、II 学生生活への支援、III 入学・卒業とV 管理営・財政が3.4でした。また、平均が普通以下は、VI 施設・設備が2.4、Ⅷ 地域との連携が2.5、Ⅶ 教職員の育成が2.7でした。

表1: 令和2～4年度学校運営評価

評価領域	平均点		
	R2	R3	R4
I 教育課程・教育活動	3.4	3.7	3.5
II 学生生活への支援	3.7	3.5	3.4
III 入学・卒業	3.5	3.5	3.4
IV 学校経営	3.7	3.7	3.5
V 管理運営・財政	3.6	3.6	3.4
VI 施設・設備	2.7	2.5	2.4
Ⅶ 教職員の育成	2.9	2.8	2.7
Ⅷ 地域との連携	2.5	2.3	2.5

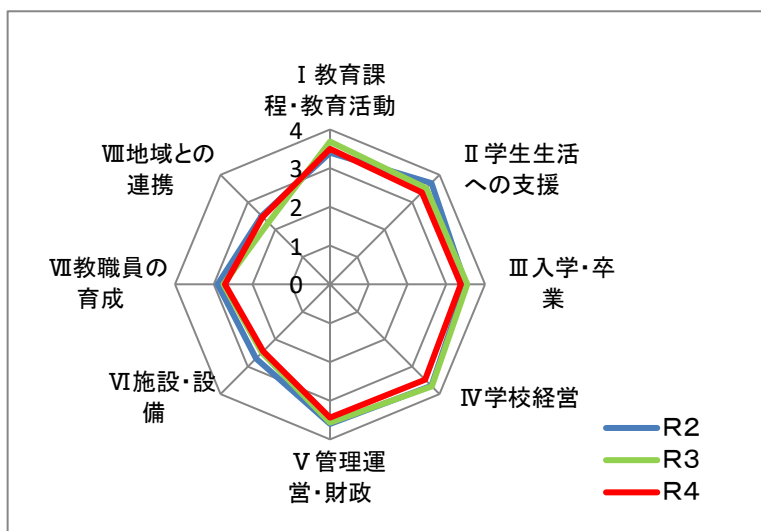


図1: 令和2～4年度学校運営評価

4、考察

新型コロナの感染状況が落ち着かない中、本年度から新カリキュラムが開始となり、新旧カリキュラムが混在する年度になりました。特に看護技術の修得は“単独でできる”項目が増え、卒業時までには修得させるにはどのようにするか課題はありますが皆で解決したいと思っています。

令和4年度は、地域との連携を除いて領域の評価平均が前年度より低い結果になりました。しかし、各領域の評価項目をみると、“学生のレベルに合うよう工夫・改善”、“未終了科目の原因分析を教員、学生とで実施し対応策を講じている”や“国試対策に個々の学生に合った指導・援助をしている”の評価が高くなりました。これは、国試対策委員とチューターが協力して学生の指導をしていく中で学生のレベルに合わせることの大切さを痛感し指導に活かしたことによる効果と考えます。これからも学生に合わせた指導を継続していきます。

また、次年度も新型コロナの感染状況によっては、経済面の対応のみならず、精神面の不調を抱える学生への支援が必要になります。そこで、スクールカウンセラーの協力も得ながら、学生に合わせた対応を実施したいと考えています。